



政府統計

報道関係者 各位

平成24年12月26日

【照会先】

大臣官房統計情報部 雇用・賃金福祉統計課

課長 南 和男

統計専門官 川野邊 智子

雇用第一係

(代表電話) 03-5253-1111 (内線 7616)

(直通電話) 03-3595-3145

平成24年上半期「雇用動向調査」の結果

～入職率は前年に比べ0.6ポイント上昇し8.8%、離職率は前年に比べ0.1ポイント低下し8.1%～

厚生労働省では、このほど、平成24年上半期「雇用動向調査」の結果を取りまとめましたので、公表します。

「雇用動向調査」は、全国の主要産業の事業所における入職、離職の状況、産業別、職業別状況のほか、入・離職者の性・年齢別、離職理由別にみた状況を明らかにすることを目的に実施しています。

上半期調査は1月から6月までの状況について7月に調査を行っています。

調査は、5人以上の常用労働者を雇用する事業所から、14,758事業所を抽出して行い、9,775事業所から有効回答を得ました。

また、回答を得た事業所の入職者58,600人、離職者51,883人についても集計しています。

【調査結果のポイント】

1 入職率、離職率

入職率は8.8%（前年同期8.2%）、離職率は8.1%（同8.2%）と前年同期に比べると入職率が0.6ポイント上昇、離職率が0.1ポイント低下し、0.7ポイントの入職超過となった（5ページ図2、16ページ 附属統計表1-2）。

2 新規学卒者※

入職者のうち新規学卒者は86.8万人（同86.7万人）と前年同期に比べ0.1万人増加した。就業形態別にみると、一般労働者72.8万人（同70.4万人）、パートタイム労働者14.0万人（同16.3万人）と、前年同期と比べて一般労働者が2.4万人増加し、パートタイム労働者が2.3万人減少した。（7ページ 表1）

3 未充足求人数

未充足求人数は51.6万人（同38.3万人）と前年同期に比べ13.3万人増加した。産業別にみると、主に建設業、サービス業（他に分類されないもの）で増加している。（13ページ 表5）

※新規学卒者（進学した者であっても学業とは別に常用労働者として働いている場合を含む）

調査結果の詳細は、別添資料をご覧ください。